SONY

取扱説明書

サイバーショット

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

DSC-U10

3-076-559-05 (1)

目次

画像をパソコンに取り込む

困ったときは

その他

お使いになる前に

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。

撮影内容の補償はできません

万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

画像の互換性について

- 本機は、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格“ Design rule for Camera File system ”に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影／修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

“ メモリースティック ”について

本機は電池や“ メモリースティック ”を出し入れすると電源が切れます。“ メモリースティック ”のアクセスランプが点灯している時は、バッテリー／“ メモリースティック ”カバーを開けないでください。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機に振動や衝撃を与えないでください！

誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、“ メモリースティック ”が使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。

液晶画面、液晶ファインダー（搭載機種のみ）およびレンズについて

- 液晶画面や液晶ファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので安心してお使いください。
- 液晶画面や液晶ファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

湿気にご注意ください！

雨の日などに屋外で撮影するときは、本機を濡らさないようにご注意ください。
結露が起きたときは、結露を取り除いてからご使用ください (94ページ)。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピーをおとりください。

本書中の画像について

画像の例として本書に掲載している写真はイメージです。本機を使って撮影したものではありません。

商標について

- " Memory Stick "(" メモリースティック ")、MEMORY STICK™、" MagicGate Memory Stick "(" マジックゲート メモリースティック ") および MG はソニー株式会社の商標です。
- " マジックゲート "および" MAGICGATE "はソニー株式会社の商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- MacintoshおよびMac OS、QuickTimeは、Apple Computer, Inc.の登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

本機のかまえかた

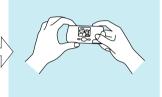
本機で撮影するときは、フラッシュやレンズを指でふさがないようご注意ください。

こんなことができます

静止画を撮る

→ 19～28ページ

静止画を見る

→ 37～41ページ

動画を撮る／見る

→ 42～45ページ

困ったときは

→ 80～90ページ

いろいろな静止画を撮る

→ 29～36ページ

パソコンに取り込んで見る

→ 50～79ページ

各部のなまえ

シャッターボタン（24）
パワー
POWERボタン（16）
パワー
POWERランプ（16）
レンズカバー（16）
モードスイッチ
PLAY: 画像再生（37）
STILL: 静止画撮影（23）／
連写撮影（33）
MOVIE:動画撮影（42）
フラッシュ（28）
レンズ
セルフタイマーランプ（27）

液晶画面

ϟ フラッシュチャージランプ（オレンジ）（28）

メニュー
MENUボタン

コントロールボタン
　メニューON時：▲/▼
　　　　　　　　　　シーン
　メニューOFF時：ϟ/SCENE（28、30）

エグゼキュート
EXECボタン

ネックストラップ取付部

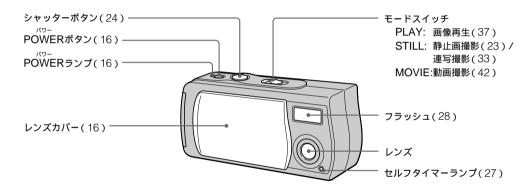
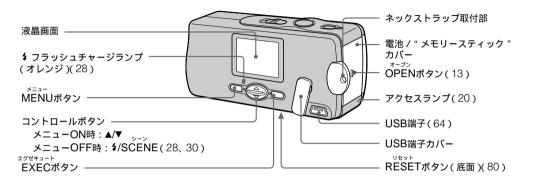
電池／“ メモリースティック ” カバー

オープン
OPENボタン（13）

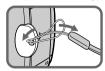
アクセスランプ（20）

USB端子（64）

USB端子カバー

リセット
RESETボタン（底面）（80）

コントロールボタンとEXECボタン

本機の設定を変えるときは、液晶画面にメニューを表示させ、コントロールボタンを使って操作します。
各項目を設定するときは、MENUボタンを押してメニューを表示し、コントロールボタンの▲/▼を押して項目や設定を選び、EXECボタンを押して決定します。
MENUボタンを押すとメニューが消えます。

ネックストラップの取り付けかた

電池を準備する

本機は以下の電池でお使いいただけます。

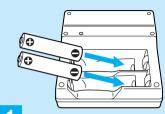
使用できる電池

単4形ニッケル水素電池2本
「NH-AAA-DI」　2本　　　（付属）
「NH-AAA-2DI」 2本パック （別売り）

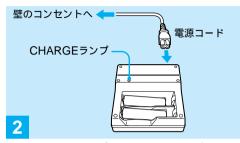
使用できない電池*

— マンガン電池、リチウム電池、ニカド電池、アルカリ電池

* 上記の電池を使用した場合、電池の特性上、電圧低下等で動作性能保証ができないことがあります。また、電池残量表示については正しく表示されません。

電池を充電する

1

➡ **バッテリーチャージャーBC-CS1（付属）にニッケル水素電池を⊕、⊖の表示に従って正しく入れる**

- 付属のニッケル水素電池を初めて使用する前には必ず充電してください。
- 周囲の温度が10℃〜30℃の環境で充電してください。これ以外では効率のよい充電ができないことがあります。
- バッテリーチャージャーは、お手近なコンセントを使用してください。CHARGEランプが消えても電源から遮断されていません。使用中、不具合が生じた時はすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。

➡ 電源コードをバッテリーチャージャーと壁のコンセントにつなぐ

充電が始まり、CHARGEランプが点灯します。
CHARGEランプが消灯したら充電が完了です。充電が完了するまでに約13時間かかります。

- 充電が終わったら、電源コードをコンセントから抜いてください。
  ニッケル水素電池をバッテリーチャージャーから取り出してください。
- ニッケル水素電池を持ち運ぶときは、必ず付属の電池ケースに入れてください。金属類で+、−がショートすると発熱、発火の危険があります。

ニッケル水素電池と充電

- ニッケル水素電池の電極が汚れていると、正常に充電できない場合があります。電池の電極とバッテリーチャージャーの端子を時々、乾いた布などで汚れを拭き取ってください。
- お買い上げ時や、長い間使わなかったニッケル水素電池は充分充電されないことがあります。これは電池の特性によるもので故障ではありません。この場合、充電と使用を数回繰り返すことにより、正常な状態に戻ります。
- ニッケル水素電池は、使用しないときでも自然放電により容量が低下します。ご使用になる直前に充電することをお勧めします。
- ニッケル水素電池は容量が残っている状態で繰り返し充電されるとメモリー効果*が発生して早めにバッテリー残量警告が表示されることがあります。最後まで使い切ってから充電することで正常な状態に戻ります。
  ＊ メモリー効果：一時的に電池の容量が低下したような特性を示す現象
- 付属のバッテリーチャージャーで、ソニーニッケル水素電池以外の電池は充電しないでください。指定以外の電池（マンガン乾電池、アルカリ乾電池、1次リチウム電池など）を充電すると、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因となり、やけどやけがをする恐れがあります。
- ニッケル水素電池は2本同時に充電してください。

- 充電するときは10℃〜30℃の範囲内でお使いください。漏液、破裂、発熱、発火、感電の原因になります。
- 充電したニッケル水素電池を連続して充電しないでください。漏液、破裂、発熱、感電の原因になります。
- 電池の外装シールを剥がしたり、傷つけたりしないでください。外装シールの一部またはすべてを剥がしている電池や破れのある電池は絶対に使用しないでください。

充電時間について

ニッケル水素電池	充電時間
NH-AAA-DI×2（付属）	約13時間

使い切ったニッケル水素電池を温度25℃の環境で、付属のバッテリーチャージャーBC-CS1で充電したときの時間です。

- 約13時間で充電が終了します。CHARGEランプは13時間以上点灯することがありますが故障ではありません。
- 充電の途中で電池を出し入れすると最初から充電を始めます。充電中は電池を取り出さないでください。
- 別売りのスタミナ急速充電キット「ACC-UNQ」をお使いになると、充電時間が短縮できます。

充電時間

単4形ニッケル水素電池2本の場合：約1時間15分
単4形ニッケル水素電池4本の場合：約2時間30分

電池残量表示（ニッケル水素電池使用時）

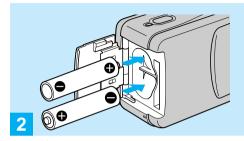
電池の残量が少なくなると、電池残量表示は以下のように表示されます。

残量表示	電池残量の目安
（表示）	充分あります。
（表示）	少なくなりました。
（表示）	撮影、再生がもうすぐできなくなります。
（表示）	充電済みのニッケル水素電池と交換するか、充電してください。（残量表示が点滅します）

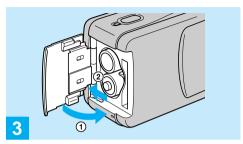
- 画面表示をオフにしているときはメニューの［▭］で［画面表示］を［入］にしてください。
- 使用状況や充電状態、環境によって正しく表示されないことがあります。
- USB接続時は電池残量は表示されません。

電池を入れる

➡ OPENボタンを押したまま、電池／“メモリースティック”カバーを開ける

矢印の方向にスライドさせると手前に開きます。

➡ 電池を入れる

電池の＋極、－極を電池ケース内部の＋、－の表示に合わせて入れます。

• 電池の電極と本機の電池／“メモリースティック”カバーの電池端子部は時々乾いた布などで汚れを拭き取ってください。電極や電池端子部に皮脂などの汚れがあると、動作時間が極端に短くなることがあります。

➡ 電池／“メモリースティック”カバーを閉める

カバーで電池を押し込みながら閉じます。カバーをしっかりと閉じてください。

電池を取り出すには

本機の電池／“メモリースティック”カバー側を上に向けて開いてから、電池を取り出してください。

- 本機の電池／“メモリースティック”カバーを開閉するときは電池が落下しないようにご注意ください。

電池の使用時間と撮影／再生可能枚数

次の表は［フォーカス］が［オート］のときに、充電した付属のニッケル水素電池で温度25℃の環境で使用した場合の目安です。また、撮影枚数は付属の“メモリースティック”を交換しながら撮影／再生したときの目安です。ご使用の状況によって記載より少ない数値になる場合があります。

静止画を撮影するとき

標準撮影*1)

画像サイズ	単4形ニッケル水素電池 NH-AAA-DI×2（付属）	
	撮影枚数	使用時間
1280×960	約120枚	約60分

*1) 以下の設定で撮影
- ［LCDライト］を［入］にする
- 30秒ごとに1回撮影
- 2回に１度、フラッシュを発光
- 10回に１度、電源を入/切する

連続撮影*2)

画像サイズ	単4形ニッケル水素電池 NH-AAA-DI×2（付属）		
	LCDライト	撮影枚数	使用時間
1280×960 (SXGA)	入	約1600枚	約60分
	切	約1800枚	約70分
640×480 (VGA)	入	約1600枚	約60分
	切	約1800枚	約70分

*2) 以下の設定で撮影
　— フラッシュモード⚡を（発光禁止）にする
　— 約2.5秒ごとに連続撮影

静止画を再生*3)するとき

画像サイズ	単4形ニッケル水素電池 NH-AAA-DI×2（付属）	
	再生枚数	使用時間
1280×960	約2400枚	約120分
640×480	約2400枚	約120分

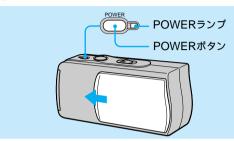
*3) 約3秒ごとに1枚表示画面を順番に再生。
上記はLCDライトを［入］にしたときの数値です。

動画を撮影するとき*4)

	単4形ニッケル水素電池 NH-AAA-DI×2（付属）	
	LCDライト	使用時間
連続撮影時	入	約60分
	切	約70分

*4) 本機の動画撮影時間は最大15秒です

下記の場合は、使用時間と撮影／再生枚数は表示よりも少なくなります。
– 周囲が低温のとき
– フラッシュ使用時
– 電源の入／切を繰り返したとき
– ［LCDライト］が［入］になっているとき
– 使用回数を重ねたり、時間が経過して、電池の容量が低下したとき（97ページ）

電源を入れる／切る

➡ レンズカバーを開けるか、POWERボタンを押して、電源を入れる

レンズカバーを開けると自動的に電源が入ります。POWERボタンを押しても電源が入ります。POWERランプが緑色に点灯します。初めて電源を入れたときは、時計設定画面が表示されます（17ページ）。

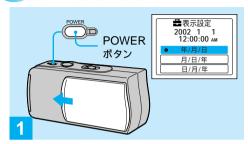
電源を切るには

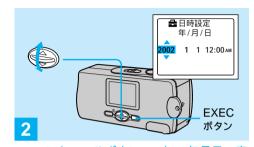
レンズカバーを閉めるか、POWERボタンを再び押すと、POWERランプが消え、電源が切れます。

- レンズカバーを開く動作が早すぎると、本機の電源が入らないことがあります。この場合はゆっくりと操作をやり直してください。

オートパワーオフ機能

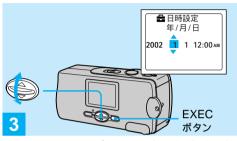
撮影、再生またはセットアップを行っているとき、本機の電源を入れたまま約3分間操作をしないと、電源の消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。ただし、USB端子にプラグが接続されているときはオートパワーオフ機能は働きません。

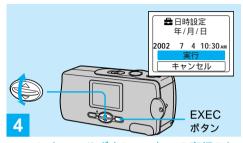
日付／時刻を合わせる

➡ レンズカバーを開けるか、POWERボタンを押して、電源を入れる

POWERランプが緑色に点灯し、表示設定画面が表示されます。

➡ コントロールボタンの▲/▼で年月日の表示順を選び、EXECボタンを押す

表示は、［年/月/日］、［月/日/年］、［日/月/年］の中から選びます。表示順が決定されると、日時設定画面が表示されます。

- この操作はモードスイッチがどの位置でも操作できます。
- 一度設定した日付、時刻を合わせ直すときは、MENUボタンを押し、［ ］の［時計設定］、［日時設定］を選んでから（93ページ）、手順3を行ってください。

- 時計の設定を記憶しておくための充電式ボタン電池の残量が少なくなると（95ページ）、自動的に表示設定画面が表示されます。このときは手順2以降を行って日付、時刻を設定し直してください。

➡ コントロールボタンの▲/▼で設定する数値を選び、EXECボタンを押す

設定する項目の上下に▲/▼が表示されます。
数値が確定され、次の項目に移ります。手順3を繰り返して、すべての項目を設定してください。

➡ コントロールボタンの▲/▼で［実行］を選び、EXECボタンを押す

日付／時刻が設定され、時計が動き始めます。

- 手順2で［日/月/年］を選んだときは、24時間表示で設定してください。

- 日付／時刻設定を間違えたときは、手順4で［キャンセル］を選ぶと表示設定画面が表示されます。手順2以降を行ってください。

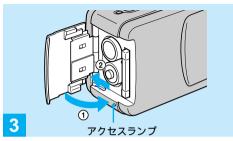
“メモリースティック”を入れる／取り出す

➡ OPEN ボタンを押したまま、電池／“メモリースティック”カバーを開ける

矢印の方向にスライドさせて開けます。

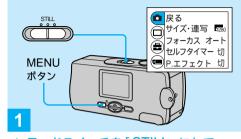
➡“メモリースティック”を入れる

“メモリースティック”を図の向きで「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

- “メモリースティック”を入れるときは、奥まできちんと差し込んでください。正しく差し込まないと正常な記録、再生ができないことがあります。
- 本機の電池／“メモリースティック”カバーを開閉するときは電池が落下しないようにご注意ください。

静止画の画像サイズを決める

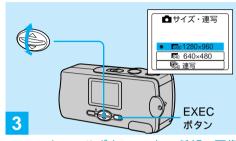
➡ 電池／“ メモリースティック ”カバーを閉める

“ メモリースティック ”を取り出すには

電池／“ メモリースティック ”カバーを開け、“ メモリースティック ”を1回押して取り出してください。

- **アクセスランプが点灯しているときは、画像の記録中、読み出し中です。このとき、絶対に 電池／“ メモリースティック ”カバーを開けないでください。画像データが壊れることがあります。**

➡ モードスイッチを「STILL」にして、MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

➡ **コントロールボタンの▲/▼で[📷]を選び**
EXECボタンを押す。
コントロールボタンの▲/▼で［サイズ・
連写］を選び、EXECボタンを押す

➡ **コントロールボタンの▲/▼で希望の画像**
サイズを選び、EXECボタンを押す

画像サイズが確定します。
設定が終わったら、MENUボタンを押してください。画面からメニューが消えます。

- ここで選んだ画像サイズの設定は、電源を切った後も保持されます。

画像サイズについて

撮影目的に合わせて、画像のサイズ（画素数）を選ぶことができます。画像サイズを大きくすると、データ容量が大きくなり、メモリースティック"に記録できる枚数は少なくなります。
目的に合った画像サイズをお選びください。

画像サイズは下記の2種類から選ぶことができます。

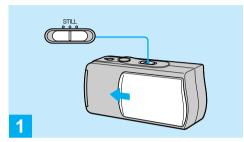
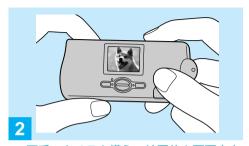
画像サイズ	画素数	用途例
1280×960	約130万画素	ハガキサイズの印刷
640×480	約30万画素	Eメール添付

"メモリースティック"1枚に記録できる枚数

（単位：枚）

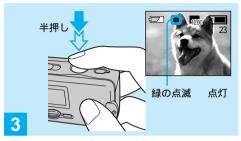
画像サイズ / 容量	1280×960	640×480
8MB	23	80
16MB	45	160
32MB	93	325
64MB	187	655
128MB	375	1315

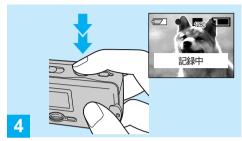
- 画像サイズはパソコンで見るときのサイズです。本機の液晶画面で見るときはどの画像サイズでも同じ大きさに見えます。
- 記録枚数は、撮影状況によって数値と異なる場合があります。
- 画像サイズの数値（例：1280×960）は、画素数を表しています。

簡単に撮る（オート撮影）

➡ モードスイッチを「STILL」にして、レンズカバーを開けて電源を入れる

➡ 両手でカメラを構え、被写体を画面中央部におさめる

レンズやフラッシュ発光部に指がかからないようにしてください。

- 静止画をJPEG形式で記録します。
- お買い上げ時は、[フォーカス]が[オート]に設定されており、露出、ピントが自動で調整されます。
- レンズが汚れている場合は、柔らかい布などできれいにしてください（94ページ）。

- 晴天の屋外など、強い光の下で撮影すると画面に不要な光（ゴースト）が入ることがあります。このようなときは、手をレンズの上方にかざすなどして光をさえぎって撮影してください。
- 露出、ピントは画面中央部に合います。

➡ シャッターボタンを半押しする

「ピピッ」と音がします。液晶画面内のAE/AFロック表示が点滅から点灯に変わると、撮影可能です。

➡ 半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込む

「ピピッ」と音がして、撮影が完了し静止画が“メモリースティック”に記録されます。録画ランプが消えると、次の撮影ができます。

- シャッターボタンを離せば、いつでも撮影を中止できます。
- 本機は、オートマクロAF機能を採用しております。ピント合わせに必要な被写体までの距離は、10 cmです。

- 撮影中、本機の電源を入れたまま約3分間操作をしないと、電池の消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます（16ページ）。

ピント合わせについて

ピントを合わせにくい被写体を撮影しようとしたときは、点滅していたAE/AFロック表示が遅い点滅に変わります。
オートフォーカスは、下記の条件でピントが合いにくいことがあります。構図を変えるなどしてもう一度ピントを合わせてみてください。それでもピントが合わないときはフォーカスプリセット（31ページ）をお使いください。

- 被写体が遠くて暗い
- 被写体と背景のコントラストが弱い
- ガラス越しの被写体
- 高速で移動する被写体
- 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
- 点滅する被写体

LCDライトについて

MENUボタンとコントロールボタンの▲/▼で［▭］の［LCDライト］を選び、つけたり消したりできます。
電池の消耗をおさえたいときに便利です。

- 本機の液晶画面は反射型LCDを採用しており、LCDライトを［切］にしていても、周囲の明るさがあれば、液晶画面で画像を見ることができます。
- メニュー操作時は、［LCDライト］を［切］に設定しても、LCDライトは点灯します。操作が終わると消灯します。

画面上の表示について

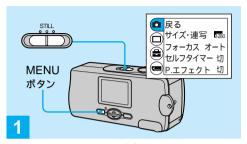
MENUボタンとコントロールボタンの▲/▼で［▭］の［画面表示］を選び、出したり消したりできます。
液晶画面で画像を確認しづらいときの撮影に便利です。

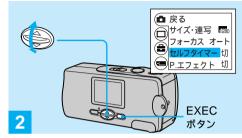
［画面表示］が［入］　［画面表示］が［切］

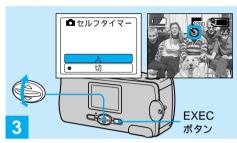
（表示可能なアイコンをすべて表示）　（警告表示のみ表示）

- 表示項目について詳しくは、100ページをご覧ください。
- 画面上の表示は記録されません。

静止画を撮る

セルフタイマーで撮る

➡ **モードスイッチを「STILL」にして、MENUボタンを押す**

メニューが表示されます。

➡ **コントロールボタンの▲/▼で［📷］を選び、EXECボタンを押す。コントロールボタンの▲/▼で［セルフタイマー］を選び、EXECボタンを押す**

• モードスイッチを「MOVIE」の位置にしても操作できます。

➡ **コントロールボタンの▲/▼で［入］を選び、EXECボタンを押す**

➡ **被写体を画面中央部におさめ、シャッターボタンを半押しにし、さらにシャッターボタンを深く押し込む**

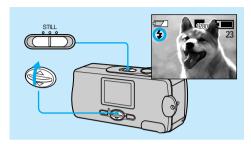
MENUボタンを押してメニューを消すと、液晶画面に⏲（セルフタイマー）が表示されます。

セルフタイマーランプ（8ページ）が赤色に点滅し、「ピッピッピ」とビープ音が鳴ります。約10秒後に撮影されます。

セルフタイマーを途中で止めるには

レンズカバーを閉じて、電源を切ってください。

- カメラの前に立ってシャッターボタンを押すと、ピントや明るさが正しく設定されないことがあります。

フラッシュモードを選ぶ

➡ モードスイッチを「STILL」にして、コントロールボタンの▲（⚡）を繰り返し押し、フラッシュモードを選ぶ

フラッシュモードは下記の通りです。

表示なし（オート）：撮影状況の光量が足りないと判断した場合、自動的に発光します。
◐（赤目軽減）：フラッシュモードはオートで、発光する場合に赤目軽減機能が働きます。
⚡（強制発光）：周囲の明るさに関係なく発光します。
Ⓢ（発光禁止）：発光しません。
ボタンを押すたびに、下記のように表示が変わります。

表示なし（オート）→ ◐（赤目軽減）→ ⚡（強制発光）→ Ⓢ（発光禁止）→ 表示なし（オート）→ …

人物の目が赤くなるのを軽減するには

撮影前にフラッシュが予備発光し、目が赤く写るのを軽減します。

➡
- 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくいことがあります。

- 連写のときは、フラッシュは使えません。
- メニューが表示されているときは、最初にMENUボタンを押してメニューを消してください。
- フラッシュモードがオートまたは⚡（強制発光）、◐（赤目軽減）のとき、暗い場所で液晶画面を見ると画像にノイズが目立つ場合がありますが、撮影される画像には影響ありません。
- フラッシュを充電している間は、⚡フラッシュチャージランプが点滅します。充電が完了すると消灯します。
- フラッシュが発光するときシャッターボタンを半押しすると⚡フラッシュチャージランプが点灯します。

場面に合わせて撮る — シーンセレクション

ソフトスナップモード

イルミネーションスナップモード

ビビッドネイチャーモード

夜景やポートレート、風景を撮影するときは、下記のモードを使用して効果を高めることもできます。

ソフトスナップモード

人物の肌の色を、明るく暖かい色調で、きれいに撮影できます。また、ソフトフォーカス効果がありますので、人物や花などを撮影した画像を優しい雰囲気に仕上げることができます。

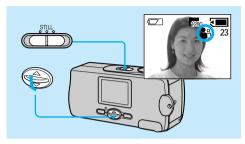
イルミネーションスナップモード

夜間のスナップ撮影時に、人物などメインとなる被写体と、背景の夜景を同時に美しく撮影できます。また、クロスフィルター効果により、街灯などの明かりが十字の形に強調されます。

- フラッシュは強制発光で、赤目軽減機能が働き、推奨距離は0.5～1.2 mです。
- フォーカスが［オート］に設定されているとき、ピントは約1 m～∞（無限遠）に合うように調整されます。1 mより近い被写体を撮影するときはフォーカスプリセット（31ページ）をご使用ください。

ビビッドネイチャーモード

空や海、山などの青色と緑色が強調され、鮮やかで印象的な自然の風景写真が撮影できます。

- フォーカス設定は［∞］(無限遠）になります。
- フラッシュは発光禁止になります。
- フォーカスが［オート］に設定されているとき、ピントは遠景に合うように調整されます。

➡ モードスイッチを「STILL」にして、コントロールボタンの▼（SCENE）を繰り返し押し、希望のモードを選ぶ

▼（SCENE）を押すたびに、下記のように表示が変わります。

表示なし（オート）→ （ソフトスナップ）→ （イルミネーションスナップ）→ （ビビッドネイチャー）→ 表示なし（オート）→ …

- メニューが表示されているときは、最初にMENUボタンを押してメニューを消してください。
- シーンセレクションを解除するときは、コントロールボタンの▼（SCENE）を繰り返し押して表示を消してください。
- ここで選んだシーンセレクションの設定は、電源を切った後は保持されません。
- 動画記録時、シーンセレクションは使えません。

被写体までの距離を設定する ― フォーカスプリセット

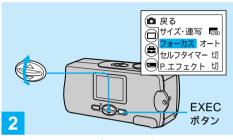
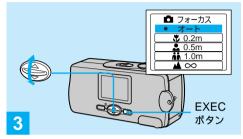
0.5 m

0.2 m

被写体との距離に応じて撮影距離をあらかじめ設定して撮影するときや、網や窓ガラス越しの被写体の撮影など、フォーカス自動調整が効きにくいときにフォーカスプリセットを使うと便利です。

➡ **モードスイッチを「STILL」にして、MENUボタンを押す**

メニューが表示されます。

- モードスイッチを「MOVIE」の位置にしても操作できます。

➡ コントロールボタンの▲/▼で［📷］を選び、EXECボタンを押す。
コントロールボタンの▲/▼で［フォーカス］を選び、EXECボタンを押す

➡ コントロールボタンの▲/▼で被写体までの距離を選び、EXECボタンを押す

被写体までの距離は次の中から選べます。
オート（表示なし）、0.2m、0.5m、1.0m、∞（無限遠）
液晶画面にアイコンが表示されます。

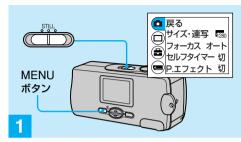
自動調節に戻すには

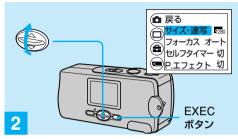
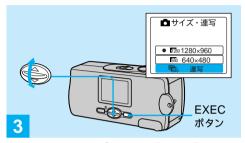
手順3で［オート］を選びます。

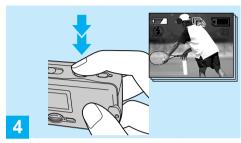
- フォーカス距離の設定は多少の誤差を含んでいます。目安としてお使いください。

連写で画像を撮る

➡ モードスイッチを「STILL」にして、MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

➡ コントロールボタンの▲/▼で［📷］を選び、EXECボタンを押す。
コントロールボタンの▲/▼で［サイズ・連写］を選び、EXECボタンを押す

- フラッシュは使えません。
- シャッターを押し続けると、最大5枚の画像を連写します。途中でシャッターをはなすと、撮影はそこで止まります。
- 撮影の間隔は約0.5秒です。ただし、イルミネーションスナップモードでは撮影の間隔が長くなる場合があります。

➡ コントロールボタンの▲/▼で［連写］を選び、EXECボタンを押す

MENUボタンを押してメニューを消すと、撮影画面に戻ります。

➡ 半押ししてから、さらに深くシャッターボタンを押しつづける

シャッターボタンを押しつづけると最大5枚の画像が撮影されます。
640×480の画像サイズで記録されます。

- フラッシュは使えません。
- 途中でシャッターボタンをはなすと、押しつづけていた時間内に撮影された枚数が記録されます。
- 撮影の間隔は約0.5秒です。

画像に特殊効果を加えて撮る — ピクチャーエフェクト

画像に特殊効果を加え、メリハリをつけることができます。

ネガアート

写真のネガフィルムのように

セピア

古い写真のような色合いに

モノトーン

白黒に

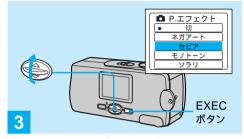
ソラリ

明暗をはっきりさせたイラストのように

➡ **モードスイッチを「STILL」にして、MENUボタンを押す**

メニューが表示されます。

• モードスイッチを「MOVIE」の位置にしても操作できます。

➡ コントロールボタンの▲/▼で［📷］を選び、EXECボタンを押す。
コントロールボタンの▲/▼で［P.エフェクト］を選び、EXECボタンを押す

➡ コントロールボタンの▲/▼で希望のモードを選び、EXECボタンを押す

ピクチャーエフェクトを解除するには

手順3で［切］を選びます。

液晶画面で静止画を見る

1枚表示画面

4枚表示画面

撮影した画像を本機の液晶画面ですぐに見ることができます。表示方法は下記の2種類から選ぶことができます。

1枚表示画面

1枚の画像を画面いっぱいで見ることができます。

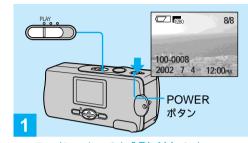
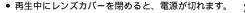
4枚表示画面

4枚の画像を同時に見ることができます。

- 画像に表示される項目については、102ページをご覧ください。
- 動画の再生については、44ページをご覧ください。
- VGA、SXGA以外のサイズの画像はサムネイル再生になります。

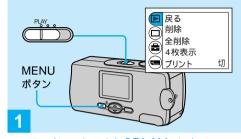
1枚表示画面で見る

➡ **モードスイッチを「PLAY」にして、POWERボタンを押して電源を入れる**

最後に撮影した画像が表示されます。

- 再生中にレンズカバーを閉めると、電源が切れます。

液晶画面で静止画を見る（つづき）

➡ コントロールボタンの▲/▼で静止画を選ぶ

▲：前の画像が表示されます。
▼：次の画像が表示されます。

4枚表示画面で見る

➡ モードスイッチを「PLAY」にして、MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

➡ コントロールボタンの▲/▼で［▶］を選び、EXECボタンを押す。
コントロールボタンの▲/▼で［4枚表示］を選び、EXECボタンを押す

4枚表示画面に切り換わります。

次（前）の4枚表示画面を表示するには
コントロールボタンの▲/▼で、黄色い枠を動かしてください。

1枚表示画面に戻るには
手順**2** で［1枚表示］を選びます。または4枚表示のとき、EXECボタンを押すと黄色い枠のついている画像が1枚表示されます。

プリントしたい画像を選ぶ
— プリントマーク

プリントしたい画像を指定します。DPOF（Digital Print Order Format）規格に対応しているお店で画像をプリントするときなどに便利です。

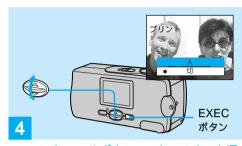
- 動画にはプリントマークはつけられません。

➡ モードスイッチを「PLAY」にして、コントロールボタンの▲/▼でプリントしたい画像を表示する

➡ MENUボタンを押し、コントロールボタンの▲/▼で［▶］を選び、EXECボタンを押す

4枚表示画面でプリントマークをつけるには

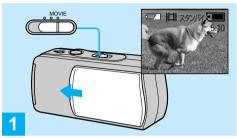
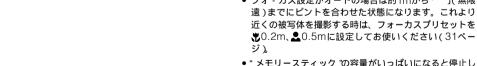
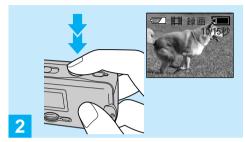
詳しくは39ページの手順**2**を行い、4枚表示画面に切り換えてください。

➡ コントロールボタンの▲/▼で［プリント］を選び、EXECボタンを押す

➡ コントロールボタンの▲/▼で［入］を選び、EXECボタンを押す

MENUボタンを押してメニューを消すと、表示されている画像に（プリント）マークが付きます。

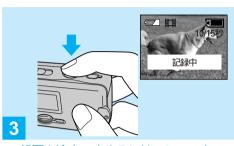
プリントマークを消すには

手順4で［切］を選びます。マークが消えます。

動画を撮る

➡ モードスイッチを「MOVIE」にして、レンズカバーを開けて電源を入れる

➡ シャッターボタンを深く押し込む

「録画」と表示され、画像の記録が始まります。
記録時間は最大15秒です。

- フォーカス設定がオートの場合は約1mから「∞」(無限遠)までにピントを合わせた状態になります。これより近くの被写体を撮影する時は、フォーカスプリセットを🌷0.2m、👤0.5mに設定してお使いください(31ページ)。
- “メモリースティック”の容量がいっぱいになると停止します。
- 動画の撮影時間は43ページをご覧ください。
- フラッシュは使えません。

- 動画をMPEG形式で記録します。
- 動画に音声は録音されません。

➡ 録画を途中で止めるには、シャッターボタンをもう1度深く押し込む

撮影中の画面上の表示について

画像には記録されません。MENUボタンとコントロールボタンの▲/▼で［□］の［画面表示］を選び、画面表示を出したり消したりできます(25ページ)。表示項目について詳しくは、101ページをご覧ください。

被写体までの距離を設定して撮影する

モードスイッチを「MOVIE」にして、31ページの手順に従ってください。

セルフタイマーで撮影する

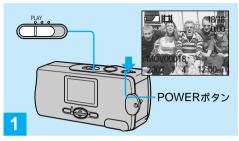
モードスイッチを「MOVIE」にして、26ページの手順に従ってください。

記録時間について

“メモリースティック”の容量によって記録できる記録時間が異なります。
下表を参考に用途に応じて“メモリースティック”をお選びください。

- 1回の撮影での記録時間は最大15秒です。
- 記録時間は撮影状況によっては数値と異なる場合があります。
- 静止画撮影時の記録枚数については22ページをご覧ください。

画像サイズ／容量	160×112
8MB	約5分20秒
16MB	約10分40秒
32MB	約21分40秒
64MB	約45分
128MB	約90分

液晶画面で動画を見る

➡ モードスイッチを「PLAY」にして、電源を入れる

最後に撮影した画像が表示されます。

➡ コントロールボタンの▲/▼で見たい動画を選ぶ

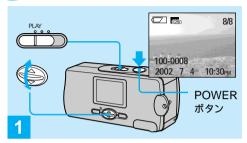
▲：前の画像が表示されます。
▼：次の画像が表示されます。

➡ EXECボタンを押す

動画が再生されます。

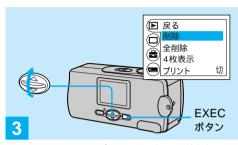
再生を止めるには
EXECボタンを押します。

動画再生中の画面上の表示は
画像には記録されません。MENUボタンとコントロールボタンの▲/▼で［▭］の［画面表示］を選び、画面表示を出したり消したりできます（25ページ）。表示される項目について詳しくは、102ページをご覧ください。

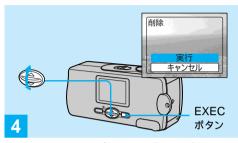
静止画／動画を削除する

➡ モードスイッチを「PLAY」にし、電源を入れる。
コントロールボタンの▲/▼で削除したい画像を表示する

➡ MENUボタンを押し、コントロールボタンの▲/▼で［▶］を選び、EXECボタンを押す

4枚表示で削除をするには

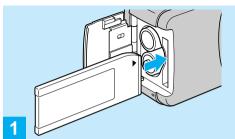
39ページの手順2を行い、4枚表示に切り換えてください。

➡ コントロールボタンの▲/▼で［削除］を選び、EXECボタンを押す

この時点ではまだ削除されていません。

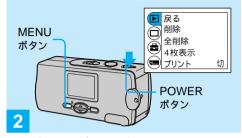
すべての画像を削除するには
手順3で［全削除］を選びます。

➡ コントロールボタンの▲/▼で［実行］を選び、EXECボタンを押す

「アクセス中」と表示されます。表示が消えると、画像が削除されます。

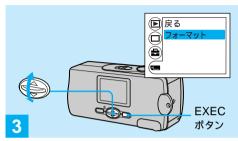
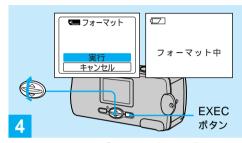
削除を中止するには
手順4で［キャンセル］を選びます。

“メモリースティック”をフォーマットする

➡ フォーマットしたい“メモリースティック”を入れる

フォーマット中は電池／“メモリースティック”カバーを開けないでください。“メモリースティック”が壊れることがあります。

- フォーマットする際は、電池の残量が充分ある状態で行ってください。バッテリーが途中で切れるとフォーマットエラーになることがあります。
- 「フォーマット」とは、“メモリースティック”に画像を記録できるようにする作業のことで、「初期化」とも言います。本機に付属、または市販の“メモリースティック”はすでにフォーマットされており、すぐにお使いになれます。**フォーマットすると、“メモリースティック”内の画像等のデータはすべて消去されますので、ご注意ください。**

➡ POWERボタンを押して電源を入れ、MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

- フォーマットはモードスイッチがどの位置でも操作できます。

➡ コントロールボタンの▲/▼で[ ]を選び、EXECボタンを押す。
コントロールボタンの▲/▼で［フォーマット］を選び、EXECボタンを押す

➡ コントロールボタンの▲/▼で［実行］を選び、EXECボタンを押す

「フォーマット中」と表示されます。表示が消えると、フォーマットが完了します。

フォーマットを中止するには
手順4で［キャンセル］を選びます。

画像を削除する

画像をパソコンに取り込むまで

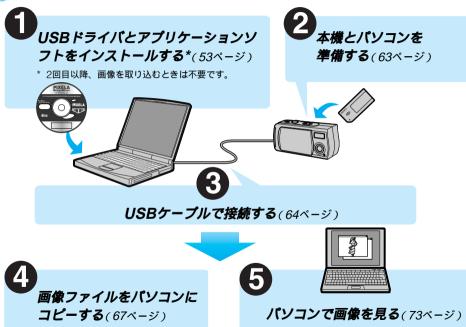
1 USBドライバとアプリケーションソフトをインストールする*（53ページ）

* 2回目以降、画像を取り込むときは不要です。

2 本機とパソコンを準備する（63ページ）

3 USBケーブルで接続する（64ページ）

4 画像ファイルをパソコンにコピーする（67ページ）

5 パソコンで画像を見る（73ページ）

50ページのような流れで、本機で撮影した画像をパソコンに取り込みます。

お使いのOSでの手順は

OSによって不要な手順があります。

OS	手順
Windows 98/98SE/2000/Me	手順❶～❺すべて（53～61、63～69、73ページ）
Windows XP	手順❶の②③、❷～❺（53、56～61、63～66、69～71ページ）
Mac OS 8.5.1/8.6/9.0/9.1/9.2、Mac OS X (v10.0/v10.1)	手順❶～❺（62～66、71、73ページ）

パソコンの推奨使用環境

■ Windowsパソコン環境

OS: Microsoft Windows 98/Windows 98SE/Windows 2000 Professional/Windows Millennium Edition/Windows XP Home Edition/Windows XP Professional

工場出荷時にインストールされていることが必要です。
上記のOSでもアップグレードされた場合は動作保証いたしません。

CPU: MMX Pentium 200 MHz以上

USB端子: 標準装備であること

ディスプレイ：800×600ドット以上
High Color（16bitカラー、65,000色）以上

■ Macintosh環境

OS: Mac OS 8.5.1/8.6/9.0/9.1/9.2、
Mac OS X (v10.0/v10.1)
工場出荷時にインストールされていることが必要です。
ただし、次のモデルの場合はMac OS 9.0/9.1にアップデートしてご使用ください。

– Mac OS 8.6が工場出荷時にインストールされていて、CD-ROMドライブがスロットローディングのiMac
– Mac OS 8.6が工場出荷時にインストールされているiBook、Power Mac G4

USB端子: 標準装備であること

ディスプレイ：800×600ドット以上
32,000色モード以上

- 1台のパソコンで2台以上のUSB機器を接続している場合、同時に使用するUSB機器によっては、本機が動作しないことがあります。
- USBハブ経由でご使用の場合は、動作保証いたしません。
- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

USBモードについて

USBモードには［標準］と［PTP］の2通りの接続方法があり、お買い上げ時には［標準］に設定されています。ここでは主に［標準］での使いかたを説明します。
本機とパソコンをUSBケーブルで接続すると、本機の電源をパソコンから供給することができます。
（USBバス電源供給）

パソコンとの通信について

パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

USB端子がないパソコンをお使いの場合は

USB端子も“メモリースティック”スロットもないパソコンをお使いの場合は、アクセサリーを使うことにより画像を取り込めます。詳しくは、デジタルイメージングカスタマーサポートのホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/support-di/

❶ USBドライバとアプリケーションソフトをインストールする

付属CD-ROMの内容

■ USBドライバ

カメラをパソコンに接続するために必要なドライバです。

■ Image Transfer

本機で撮影した画像をパソコンに簡単に取り込めるアプリケーションソフトです。

* Image TransferはWindowsにのみ対応しております。

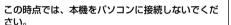
■ ImageMixer

パソコンに取り込んだ画像を一覧表示したり、編集できるアプリケーションソフトです。

- ディスプレイの設定を800×600ドット以上、High Color（16bitカラー、65,000色）以上にしてください。800×600ドット未満、256色以下ではインストールのタイトル画面が表示されません。

1

➡ パソコンの電源を入れる

この時点では、本機をパソコンに接続しないでください。

- ここでは、Microsoft Windows Meの画面を使って説明します。OSの種類によって、画面表示や操作方法が異なることがあります。
- **パソコンを使用中の場合には、使用中のソフトウェアをすべて終了させてください。**
- Windows 2000、またはWindows XPをお使いのかたは、Administrators（管理者権限）でログオンしてください。

2

➡ 付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする

しばらくすると、タイトル画面が表示されます。
タイトル画面が表示されないときは、デスクトップ画面上の（マイ コンピュータ）→（ImageMixer）の順にダブルクリックしてください。

① USBドライバをインストールする

98 **98SE** **Me** **2000**

1

➡ タイトル画面の「USB Driver」の部分に（ポインタ）を動かし、クリックする

「Sony USB Driver用のInstallShieldウィザードへようこそ」画面が表示されます。

- Windows XPをお使いのかたは、手順①は不要です。手順②にお進みください。

2 ここをクリックする

➡［次へ］をクリックする 。「情報」画面が表示されたら、［次へ］をクリックする

USBドライバのインストールが始まります。
インストールが終わると、「InstallShieldウィザードの完了」画面が表示されます。

3 ここをクリックする

➡「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」の○をクリックして◉にし、［完了］をクリックする

コンピュータが再起動し、インストールが完了します。

② 「Image Transfer」をインストールする

98 **98SE** **Me** **2000** **XP**

ここをクリックする

1

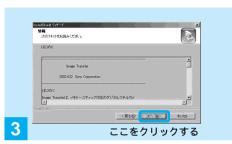
➡ **タイトル画面の「Image Transfer」の部分に（ポインタ）を動かし、クリックする。**
[▼] をクリックして「日本語」を選び、[OK] をクリックする

「Image Transfer用のInstallShieldウィザードへようこそ」画面が表示されます。
「Image Transfer」をお使いになるためにはUSBドライバが必要です。お使いのパソコンに必要なドライバがインストールされていないときは、ドライバのインストールをうながす画面が表示されます。この時は、画面の指示に従って操作してください。

ここをクリックする

2

➡ **[次へ] をクリックする。**
「使用許諾契約」画面が表示されたら、[はい] をクリックする

ソフトウェア使用許諾契約書の内容をよくご確認ください。同意された場合は、インストールの手順に進みます。「情報」画面が表示されます。

3 ここをクリックする

➡ ［次へ］をクリックする

4 ここをクリックする

➡「インストール先の選択」画面でインストールするフォルダを選び、［次へ］をクリックする。
「プログラムフォルダの選択」画面でプログラムフォルダを選び、［次へ］をクリックする

画像をパソコンに取り込む

➡「カメラなどがつながれたらImage Transferを自動的に起動します。」の「はい」がチェックされているのを確認し、［次へ］をクリックする

「Image Transfer」のインストールが始まります。
インストールが終わると、「InstallShieldウィザードの完了」画面が表示されます。

➡［完了］をクリックする

インストール画面が閉じます。続けて「ImageMixer」をインストールするときは、59ページ以降の手順にお進みください。

• 通常は、「自動的に起動する」に設定します。

③「ImageMixer」をインストールする

98 98SE Me 2000 XP

ここをクリックする

1

➡ タイトル画面の中の「PIXELA ImageMixer」の部分に（ポインタ）を動かし、クリックする

「設定言語の選択」画面が表示されます。

ここをクリックする

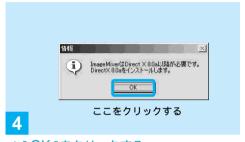
2

➡ [▼] をクリックして「日本語」を選び、[OK] をクリックする

「PIXELA ImageMixer用のInstallShieldウィザードへようこそ」画面が表示されます。

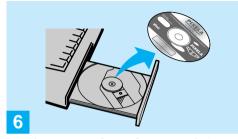
ImageMixerに関するお問い合わせ
ピクセラユーザーサポートセンター
電話：072-224-0181
受付時間：月〜日曜日　午前9時〜午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）
URL：http://www.imagemixer.com

➡ 画面の指示に従って操作する

インストールが終了すると、「Read Me」テキストが表示されます。お読みになってから、画面右上の図で閉じてください。インストール画面の［完了］ボタンをクリックしてインストール画面を閉じてください。
お使いのパソコンにDirectX8.0a以降のバージョンがインストールされていない場合は、「情報」画面が表示されます。

➡ ［OK］をクリックする

「Microsoft DirectX8.0aのセットアップ」画面が表示されます。

- Windows XPをお使いのかたは、手順4～5は不要です。手順6に進んでください。
- お使いのパソコンにDirectX8.0a以降のバージョンがインストールされている場合は、あらためてインストールする必要はありません。

➡「DirectX(R)セットアップ」画面で［インストール］をクリックし、「DirectX セットアップ」画面が表示されたら［OK］をクリックする

「DirectX」のインストールが始まります。インストールが終わるとパソコンの電源が一度切れ、すぐに入ります（再起動）。

➡ パソコンからCD-ROMを取り出す

再起動後、本機とパソコンでUSB接続ができるようになります。

Macintoshをお使いの場合

Mac OS 9.1/9.2、Mac OS X (v10.0/v10.1)をお使いのかたはインストールする必要がありません。63ページへお進みください。

❶ USBドライバとアプリケーションソフトをインストールする

① USBドライバをインストールする（Mac OS 8.5.1/8.6/9.0のみ）

1 パソコンの電源を入れる

2 付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする

「Pixela ImageMixer」画面が表示されます。

3 (Setup Menu) をダブルクリックする

4 表示された画面 (USB Driver) をクリックする

「USB Driver」画面が表示されます。

5 OSの入っているハードディスクアイコンをダブルクリックして、画面を開く

6 手順4で開いたウィンドウから、下記の2つのファイルを、手順5で開いたウィンドウの「システムフォルダ」のアイコンの上に移動（ドラッグ＆ドロップ）する

- Sony USB Driver
- Sony USB Shim

7 「"機能拡張"フォルダにこれらの項目を入れますか？」と表示されたら［OK］をクリックする

インストールが終わると、インストール画面が閉じます。

② 「ImageMixer」をインストールする

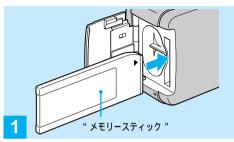
1 タイトル画面の日本語をクリックする

2 画面の指示に従って操作する

インストールが終了すると、インストール画面が閉じます。

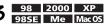
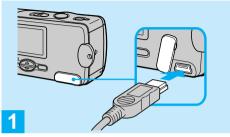
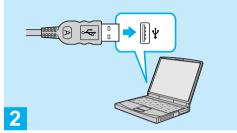
3 再起動したあと、パソコンからCD-ROMを取り出す

❷ 本機とパソコンを準備する

98 2000 XP 98SE Me Mac OS

➡ 本機に画像を記録した“ メモリースティック ”を入れる

➡ パソコンの電源を入れる

- “ メモリースティック ”については、19ページをご覧ください。
- 本機がパソコンと接続しているときは、パソコン側の電源を使用します。ニッケル水素電池の劣化を防ぐために、電池は抜いて接続することをおすすめします。

❸ USBケーブルで接続する

➡ 本機の端子カバーを開け、付属のUSBケーブルをUSB端子につなぐ

➡ USBケーブルをパソコンのUSB端子につなぐ

本機の電源が入ります。
USB通信時は、本機に電源が入っていなくても、推奨環境のほとんどのパソコンとUSB接続することで電源の供給をうけることができます。（USBバス電源供給）

- デスクトップ型パソコンをお使いの場合は、パソコン後面のUSB端子をご使用ください。
- Windows XPをお使いの場合は、パソコンの画面にコピーウイザードが表示されます。69ページにお進みください。

- **USBハブ経由でご使用の場合は、動作保証いたしません。**

本機の液晶画面に「USBモード：標準」と表示されます。初回接続時のみ、パソコンが本機を認識するための作業を自動的に行います。作業が終わるまでお待ちください。

- 手順3を終了しても「USB モード：標準」と表示されないときは、本機の［🧰］の［USB］が［標準］になっているか確認してください（93ページ）。
- USBモードでは、POWERボタンやレンズカバーによる操作など本機側の操作をおこなうことはできません。
- Macintoshをお使いの場合は、71ページへお進みください。

パソコンからUSBケーブルを抜くときや、USB接続中の本機から" メモリースティック "を取り出すときは

アクセスランプが点灯しているときは、画像の記録中、読み出し中です。このとき、絶対に電池/" メモリースティック "カバーを開けないでください。

Windows 2000/Me/XPをお使いの場合は

1 タスクトレイの をダブルクリックする。

2 (Sony DSC)をクリックし、[停止]をクリックする。

3 取りはずすドライブを確認して、[OK]をクリックする。

4 [OK]をクリックする。

- Windows XPをお使いの場合は、手順**4**は必要ありません。

5 USBケーブルを抜く、または" メモリースティック "を取り出す。

Windows 98/98SEをお使いの場合は

手順**5**のみ行ってください。

Macintoshをお使いの場合は

" メモリースティック "のアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップしてから、USBケーブルを抜く、または" メモリースティック "を取り出してください。

＊Mac OS Xをお使いの場合は、パソコンの電源を切ってからUSBケーブルを抜くなどの作業を行ってください。

4 画像ファイルをパソコンにコピーする 98 2000 98SE Me

「Image Transfer」インストール時に「自動的に起動する」に設定（58ページ）したときは、USB接続時に「Image Transfer」が自動的に起動し、画像がコピーされます。コピーが完了すると「ImageMixer」が自動起動し、画像一覧が表示されます。
「Image Transfer」が自動起動しない場合は、タスクトレイの「Image Transfer」のアイコンをダブルクリックしてください。

- 通常は「マイドキュメント」フォルダ内に「Image Transfer」、「日付」フォルダが作成され、その中に本機で撮影した画像ファイルがすべてコピーされます。
- 「Image Transfer」の設定は設定画面で変更できます。
- Windows XPをお使いのかたは、69ページをご覧ください。

「Image Transfer」を使わずにコピーする

「Image Transfer」を自動起動していない場合は、以下の手順でパソコンにコピーできます。

1 ［マイコンピュータ］をダブルクリックする

「マイコンピュータ」画面が表示されます。

- ここでは、「マイドキュメント」というフォルダに画像ファイルをコピーします。

2 ［リムーバブルディスク］をダブルクリックする

本機内の“メモリースティック”の内容が表示されます。

- リムーバブルディスクが表示されていないときは、68ページをご覧ください。

3 ［DCIM］をダブルクリックする

「DCIM」フォルダの内容が表示されます。

- 動画は「MSSONY」フォルダをダブルクリックします。

4 ［100MSDCF］をダブルクリックする

「100MSDCF」フォルダの内容が表示されます。

- 「100MSDCF」フォルダの中に、本機で撮影した静止画がファイルとして入っています。
- 「MOML0001」フォルダの中に、本機で撮影した動画がファイルとして入っています。

5 画像ファイルを「マイドキュメント」フォルダにドラッグ＆ドロップする

「マイドキュメント」フォルダに画像ファイルがコピーされます。

- 同じファイル名の画像をパソコンの同じフォルダにコピーすると、元の画像を上書きしてもよいかを確認するメッセージが表示されます。上書きするときは［はい］をクリックしてください。この場合、元の画像はなくなります。上書きしないときは［いいえ］をクリックして、ファイル名を変更してください。

「リムーバブルディスク」が表示されないときは

1 ［マイ コンピュータ］を右クリックし、［プロパティ］をクリックする

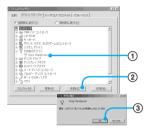
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

2 別のデバイスが表示されていないか確認する

① ［デバイスマネージャ］をクリックする。

② ［?その他のデバイス］をダブルクリックする。

③ "?"マークの付いた「?Sony DSC」または「?Sony Handycam」がないか確認する。

3 表示されていたら削除する

① 「Sony DSC」または「Sony Handycam」をクリックする。

② [削除] をクリックする。
「デバイス削除の確認」画面が表示されます。

③ [OK] をクリックする。
デバイスが削除されます。

デバイスを削除したあと、付属のCD-ROMのUSBドライバをインストールし直してください（54ページ）。

❹ 画像ファイルをパソコンにコピーする XP

「Image Transfer」を使ってコピーするには

Windows XPでは、OS側の自動再生ウィザードが起動するように設定されています。以下の手順で設定を解除してください。

* 2回目以降、画像を取り込むときは不要です。

1 本機とパソコンをUSBケーブルで接続する（64ページ）

2 [スタート] → [マイコンピュータ] をクリックする

3 [Sony MemoryStick] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする

4 設定を解除する

①「内容の種類」を［画像］にする

②「動作」の［実行する動作を選択］をチェックして［何もしない］を選び、［適用］をクリックする

③「内容の種類」を［ビデオファイル］と［混在したコンテンツ］にして、手順②を行う

④［OK］をクリックする
「プロパティ」画面が閉じます。

5 USBケーブルを一度抜き差しする（66ページ）

「Image Transfer」が自動起動し、パソコンに自動的にコピーされます（67ページ）。

Windows XPのコピーウィザードを使ってコピーするには

1 コピーウィザード画面で［コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする。Microsoftスキャナとカメラウィザード使用］をクリックし、［OK］をクリックする

「スキャナとカメラのウィザードの開始」画面が表示されます。

- 64ページの手順を行うと、パソコンの画面にコピーウィザードが表示されます。

2 ［次へ］をクリックする

本機の“メモリースティック”に記録されている画像が表示されます。

3 パソコンにコピーしない画像の ☑ をクリックして □ にし、［次へ］をクリックする

「画像の名前とコピー先」画面が表示されます。

4 画像の名前とコピー先を指定し、［次へ］をクリックする

画像のコピーが始まります。コピーが終了すると、「その他のオプション」画面が表示されます。

- 画像のコピー先は、「マイドキュメント」にしてください。

5 ［作業を終了する］を選び、［次へ］をクリックする

「スキャナとカメラのウィザードの完了」画面が表示されます。

6 ［完了］をクリックする

ウィザード画面が閉じます。

- 続けて画像をコピーしたい場合は、USBケーブルを一度抜き差しして、手順1から行ってください。

❹ 画像ファイルをパソコンにコピーする Mac OS

1 デスクトップ画面上の新しく認識されたアイコンをダブルクリックする。

本機内の“メモリースティック”の内容が表示されます。

2 ［DCIM］をダブルクリックする

3 ［100MSDCF］をダブルクリックする

4 画像ファイルをハードディスクアイコンにドラッグ＆ドロップする

ハードディスクに画像ファイルがコピーされます。

画像ファイルの保存先とファイル名

本機で撮影した画像ファイルは、撮影モードごとに"メモリースティック"内のフォルダにまとめられています。

Windows Meで見たときの例

デスクトップ
- マイ ドキュメント
- マイ コンピュータ
  - 3.5 インチ FD (A:)
  - ローカル ディスク (C:)
  - ローカル ディスク (D:)
  - CD-ROM (E:)
  - リムーバブル ディスク (F:)
    - DCIM
      - 100MSDCF —— **静止画データ／連写画像データのフォルダ**
    - MSSONY
      - MOML0001 —— **動画データのフォルダ**

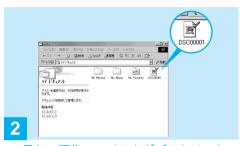
表について

ファイル名の意味は以下の通りです。□□□□には0001から9999までの数字が入ります。

このフォルダの中にある	ファイル名	ファイルの内容
100MSDCF	DSC0□□□□.JPG	• 通常撮影した静止画ファイル • 連写モードで撮影した静止画ファイル
MOML0001	MOV0□□□□.MPG	• 通常撮影した動画ファイル

❺ パソコンで画像を見る

➡ デスクトップ画面上の［マイドキュメント］をダブルクリックする

「マイドキュメント」フォルダの内容が表示されます。

➡ 見たい画像ファイルをダブルクリックする

画像が開きます。

Macintoshをお使いの場合

1　ハードディスクアイコンをダブルクリックする。

2　画像ファイルをフォルダの中から選んでダブルクリックする。

- 「マイドキュメント」フォルダに画像をコピーした場合の説明です。
- Windows XPをお使いの場合は、［スタート］→［マイドキュメント］をクリックしてください。

「ImageMixer」で画像を取り込む

「PIXELA ImageMixer for Sony」を使って、本機からパソコンに画像を取り込みます。

- ここでは、「マイドキュメント」フォルダに画像をコピーします。
- 「Image Transfer」で画像を転送し終わると、「PIXELA ImageMixer for Sony」が自動起動し、画像が一覧表示されます。手順3の⑥へお進みください。
- 画像はWindowsの場合の例です。

1 「ImageMixer」を起動する

デスクトップ画面上の(PIXELA ImageMixer Ver.1.0 for Sony)をダブルクリックすると、「ImageMixer」が起動し、メイン画面が表示されます。

2 をクリックする

画像を取り込むための画面が表示されます。

3 画像をパソコンに取り込む

① 画面左上のをクリックする。

② 画面左上のをクリックする。
“メモリースティック”内の画像が一覧表示されます。

③ 画面右上のをクリックする。
「入力の環境設定」画面が表示されます。

④「入力モード保存先の設定」で［参照］をクリックし、表示される「フォルダの参照」画面で［マイドキュメント］をクリックして、［OK］をクリックする。

⑤ をクリックする。

⑥ 画面右上の（アルバム）をクリックする

- 画像をにドラッグ＆ドロップすることもできます。

⑦ パソコンに取り込む画像をクリックし、画面右上のをクリックする

画像が パソコンに取り込まれ「ImageMixer」のアルバムに一覧表示されます。

- 「ImageMixer」の使いかたについて詳しくは、ハードディスク→ PIXELA ImageMixer → manual → index.htmlの順にダブルクリックして、ヘルプをご覧ください。
- パソコンに取り込んだ画像を「PIXELA ImageMixer for Sony」を使って見ることができます。

画像をパソコンに取り込む

「ImageMixer」で画像を見る

1

➡ をクリックする

画像を見るための画面が表示されます。

• 「ImageMixer」を使うと、取り込んだ画像を編集することもできます。詳しくは、画面右上の ? をクリックして、ヘルプをご覧ください。

2

➡ 表示したい画像をダブルクリックする

選んだ画像が表示されます。

前の画面に戻るには

画面右上の をクリックします。

アルバムを使ってこんなことができます

• アルバムにタイトルをつけて画像をアルバム別に管理することができます。
• 画像にタイトルやコメントをつけることができます。
• 画像の撮影情報を確認することができます。

「ImageMixer」で静止画を印刷する

1

➡ 静止画を表示する

76ページの手順**1**の操作を行ってください。

2

➡ 印刷したい静止画を選び、をクリックして表示されるメニューから［印刷］をクリックする

「印刷レイアウト設定」画面が表示されます。

- 「PIXELA ImageMixer for Sony」で開いた静止画をプリンタで印刷します。あらかじめプリンタとパソコンを接続し、両方の機器の電源を入れておきます。プリンタの接続や設定などについて詳しくは、プリンタに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 画像はWindowsの場合の例です。

3

➡ レイアウトを設定する

お好みに応じて設定してください。
通常は画面下の [アイコン] をクリックします。

4

➡ 用紙の設定をする

① [アイコン] をクリックする。
「プリンタの設定」画面が表示されます。

② 用紙のサイズや印刷の向きを設定し、［OK］をクリックする。

5

➡ 印刷する

① （プリンタボタン）をクリックする。

「印刷」画面が表示されます。

② [OK] をクリックする。

静止画が印刷されます。

印刷できないときは

プリンタの接続や設定が正しいかどうか確認してください。詳しくは、お使いのプリンタに付属の取扱説明書をご覧ください。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

1 80～87ページの項目をチェックし、本機を点検する

液晶画面に「C：□□：□□」のような表示が出たときは自己診断表示機能が働いています。90ページをご覧ください。

2 本体底面にあるRESETボタンを先の細いもので押してから、電源を入れる
（この操作を行うと、日時などの設定は解除されます）

3 デジタルイメージングカスタマーサポートのホームページを確認する（裏表紙）

4 テクニカルインフォメーションセンターに電話で問い合わせる（裏表紙）

RESETボタン

電池・電源

症状	原因	処置
電池の残量表示が正しくない。または電池残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる。	● 温度が極端に高いまたは低いところで長時間使用している。 ● 電池が消耗している。 ● ニッケル水素電池の電極、または電池／“メモリースティック”カバーの端子部が汚れている。 ● ニッケル水素電池にメモリー効果が発生している（11ページ）。 ● 電池そのものの寿命（97ページ）。	— → 充電された電池を取り付ける（13ページ）。 → 電池の電極と電池／“メモリースティック”カバーの電池端子部の汚れを乾いた布などで拭き取る（11ページ）。 → 電池を使いきってから充電することで正常に戻ります。 → 新しい電池と交換する。
電池の消耗が早い。	● 温度が極端に低いところで撮影/再生している。 ● 充電が不充分。 ● 電池そのものの寿命（97ページ）。	— → 充電する（10ページ）。 → 新しい電池と交換する。

電池・電源（つづき）

症状	原因	処置
電源が入らない。	● 電池が正しく取り付けられていない。	→ 電池を正しく取り付ける（13ページ）。
電源が途中で切れる。	● 操作しない状態が3分以上続くと、電池の消耗を防ぐため、自動的に電源が切れる（16ページ）。 ● 電池が消耗している。	→ 電源を入れ直す（16ページ）。 → 充電された電池を取り付ける（13ページ）。

静止画／動画を撮る

症状	原因	処置
液晶画面に被写体が写らない。	● モードスイッチが「PLAY」になっている。	→ モードスイッチを「STILL」または「MOVIE」にする（23、42ページ）。
フォーカスが合わない。	● 被写体が近すぎる。 ● 静止画撮影時、シーンセレクションが［ビビッドネイチャー］になっている。 ● フォーカスプリセットの状態になっている。	→ 最短撮影距離（10 cm）よりもカメラを離して撮影してください（31ページ）。 → その他のモードにする（29ページ）。 →［フォーカス］を［オート］にする（32ページ）。
画像が暗い。	● 液晶画面が暗い。	→［LCDライト］を［入］にする（25、92ページ）。
画像が明るい。	● 液晶画面が明るい。	→［LCDライト］を［切］にする（25、92ページ）。

静止画／動画を撮る（つづき）

症状	原因	処置
画像が白黒になる。	● ピクチャーエフェクトが［モノトーン］になっている。	➔ 解除する（35ページ）。
明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる。	● スミアという現象。	➔ 故障ではない。
撮影できない。	●“ メモリースティック ”が入っていない。	➔“ メモリースティック ”を入れる（19ページ）。
	●“ メモリースティック ”の容量がない。	➔“ メモリースティック ”内の画像を削除するかまたはフォーマットをする。 ➔“ メモリースティック ”を交換する。
	●“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	➔ 解除する（96ページ）。
	● フラッシュ充電中は撮影できない。	➔ 充電が完了してから撮影する。
	● 静止画撮影時、モードスイッチが「STILL」になっていない。	➔ モードスイッチを「STILL」にする（23ページ）。
	● 動画撮影時、モードスイッチが「MOVIE」になっていない。	➔ モードスイッチを「MOVIE」にする（42ページ）。
フラッシュ撮影ができない。	● モードスイッチが「MOVIE」または「PLAY」になっている。	➔ モードスイッチを「STILL」にする（28ページ）。
	● 設定が(発光禁止）になっている。	➔ オート（表示なし)、(赤目軽減）または(強制発光）にする（28ページ）。
	● 静止画撮影時、シーンセレクションが[ビビッドネイチャー]、または連写設定になっている。	➔ その他のモードにする（29ページ）。
被写体の目が赤く写る。	—	➔ (赤目軽減）にする（28ページ）。
正しい撮影日時が記録されない。	● 日付・時刻が合っていない。	➔ 日付・時刻を合わせる（17ページ）。

画像を見る

症状	原因	処置
再生できない。	● モードスイッチが「PLAY」になっていない。 ● パソコンのハードディスクにコピーしたファイルで名前や画像サイズを変更したり、画像を加工したものは本機で再生できないことがある。	→ モードスイッチを「PLAY」にする（37ページ）。 —
パソコンで再生できない。	—	→ 73ページ
プリントマークがつかない。	● 動画にはプリントマークをつけられない。	—

画像を削除する

症状	原因	処置
削除できない。	●" メモリースティック "の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	→ 誤消去防止スイッチを解除する（96ページ）。
全削除しても" メモリースティック "が空にならない。	● パソコンでファイル名や保存先を変更したファイルが入っている ● 他の機器でプロテクト（誤消去防止機能）をかけたファイルは全削除しても消去されない。	→" メモリースティック "をフォーマットする（48ページ）。 →" メモリースティック "をフォーマットする（48ページ）。
誤って消してしまった。	● 一度削除したファイルは元に戻せない。	→" メモリースティック "の誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると、誤消去を防げます（96ページ）。

パソコン

症状	原因	処置
対応しているOSが分からない。	—	➔「パソコンの推奨使用環境」を確認する（51ページ）。
USBドライバをインストールできない。	— ● 対応OS以外のパソコンにインストールしようとしている。	➔ Windows 2000を使用している場合は、Administrators（管理者権限）でログオンする（53ページ）。 —
本機がパソコンに認識されない。	● 付属のUSBケーブルを使っていない。 ● USBケーブルがしっかり差し込まれていない。 ● [ ] の［USB］が［PTP］になっている。 ● パソコンのUSB端子に本機の他に機器が接続されている。 ● USBドライバがインストールされていない。 ● 付属のCD-ROMから「USBドライバ」をインストールする前に、USBケーブルで本機とパソコンを接続したため、デバイスが正しく認識されていない。 ● “ メモリースティック ”が入っていない。	➔ 付属のUSBケーブルを使う（64ページ）。 ➔ 一度パソコンと本機からケーブルを抜いて、しっかりと差し込み、「USBモード」になっていることを確認する（64、93ページ）。 ➔［標準］にする（93ページ）。 ➔ キーボード／マウス以外は取りはずす。 ➔ USBドライバをインストールする（54、62ページ）。 ➔ 正しく認識されなかったデバイスを削除してから、USBドライバをインストールする（54、68ページ）。 ➔ “ メモリースティック ”を挿入する。
USB接続時に電源が入らない。	● 本機とパソコンをハブ経由で接続している。	➔ 本機をパソコンに直接接続する、または500 mA出力のハブを使用する。

パソコン（つづき）

症状	原因	処置
画像をコピーできない。	● 本機とパソコンの接続が正しくない。 ● お使いのOSによって手順が違う。 —	→ 本機とパソコンを正しくUSB接続する（64ページ）。 → お使いのOSに対応した手順でコピーする（67、69、71ページ）。 →「PIXELA ImageMixer for Sony」ソフトウェアをお使いの場合は、74ページをご覧になるか、ヘルプをご覧ください。
画像を再生できない。	— —	→「PIXELA ImageMixer for Sony」ソフトウェアをお使いの場合は、75ページをご覧になるか、ヘルプをご覧ください。 → パソコンメーカーまたはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
動画を再生すると画像が途切れる。	●"メモリースティック"から直接再生している。	→ パソコンのハードディスクに動画をコピーをして、ハードディスクのファイルを再生する。
画像を印刷できない。	—	→ お使いのプリンターの設定を確認してください。 → 77ページをご覧になるか、「PIXELA ImageMixer for Sony」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
付属のCD-ROMをパソコンにセットするとエラーメッセージが表示される。	● パソコンのディスプレイの設定が正しくない。	→ パソコンのディスプレイの設定を以下のようにする。 Windowsの場合：800×600ドット以上 High Color（16bitカラー、65 000色）以上 Macintoshの場合：800×600ドット以上 32 000色モード以上

“ メモリースティック ”

症状	原因	処置
本機に入らない。	● “ メモリースティック ”を入れる向きが違っている。	➔ 正しい向きにして入れる（19ページ）。
記録できない。	● “ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。 ● “ メモリースティック ”の容量がいっぱいになっている。	➔ 誤消去防止を解除する（96ページ）。 ➔ 不要な画像を削除する（46ページ）。
フォーマットできない。	● “ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	➔ 誤消去防止を解除する（96ページ）。
誤ってフォーマットしてしまった。	● フォーマットすると、“ メモリースティック ”内の画像等のデータはすべて消去され、もとに戻らない。	—

その他

症状	原因	処置
操作を受け付けない。	● バッテリーが残り少ない（表示が出る）。 ● USB接続している。 ● 内部システムの誤動作。	→ 充電する（10ページ）。 → USBプラグを抜くか、パソコンで操作する。 → 電源を切り、1分後に電源を入れて、正しく動作するか確認する。
電源が入っているのに操作できない。	● 内部システムの誤動作。	→ バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを取り付け、電源を入れる。これでも操作できないときは、本体底面のRESETボタンを先の細いもので押してから、電源を入れる（80ページ）。（この操作をすると日時などの設定が解除される。）
液晶画面上の表示が分からない。	—	→ 表示の種類を確認する（100〜102ページ）。
レンズがくもる。	● 結露している。	→ 約1時間そのままにしてから使用する（94ページ）。

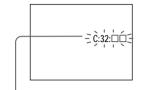
警告表示について

液晶画面には次のような表示が出ることがあります。

表示	意味／処置
メモリースティックがありません	●“ メモリースティック ”を入れてください（19ページ）。
システムエラー	● 電源を入れ直してください（16ページ）。
メモリースティックエラー	● 本機では使えない“ メモリースティック ”が入っている（96ページ）。 ●“ メモリースティック ”が壊れている。“メモリースティック”の端子部が汚れている。 ●“ メモリースティック ”を正しく入れてください（19ページ）。
フォーマットエラー	●“ メモリースティック ”が正しくフォーマットされていない。フォーマットし直してください（48ページ）。
メモリースティックがロックされています	●“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。解除してください（96ページ）。
メモリースティックの残量がありません	●“ メモリースティック ”がいっぱいで、記録ができない。不要な画像を削除してください（46ページ）。
ファイルがありません	● 画像が記録されていない。
ファイルエラー	● 画像再生時の異常。
フォルダーエラー	●“ メモリースティック ”内に同じフォルダーが存在する。

表示	意味／処置
無効な操作です	● 本機以外で作成したファイルを再生しようとしている。 ● 動画、または本機以外で作成したファイルにプリントマークをつけようとしている。
[illegible]	● 電池の残量が少ない。電池を充電してください（10ページ）。ご使用状況によっては、電池の残量が5分から10分でも点滅することがあります。
レンズカバーが閉まっています	● モードスイッチが「STILL」または「MOVIE」のときに、レンズカバーが閉まっている。
撮影できませんでした	● 画像サイズを変えて、撮影しなおしてください。

自己診断表示 — アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。これは本機に異常が起きたときに液晶画面にアルファベットと4桁の数字でお知らせする機能です。表示によって、異常の内容が分かるようになっています。
詳しくは下の表をご覧になり、各表示に合った対応をしてください。表示の末尾2桁（□□）の数字は、本機の状態によって変わります。

自己診断表示

表示	原因	対応のしかた
C:32:□□	ハードウェア機能の異常。	• 電源を入れ直す（16ページ）。
C:13:□□	データが読めない／書けない。	• " メモリースティック "を数回抜き挿しする。
	フォーマットしていない" メモリースティック "を入れた。	• フォーマットする（48ページ）。
	本機では使えない" メモリースティック "を入れた。 データが壊れている。	• " メモリースティック "を交換する（19ページ）。
E:61:□□ E:91:□□	何らかの異常が起きている。	• 本体底面のRESETボタン（80ページ）を押してから、電源を入れる。

「対応のしかた」を2、3度繰り返しても正常な状態に戻らないときは修理が必要な状況と思われます。テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。その際、表示の5桁のすべてをお知らせください。
例:E:61:10

メニュー項目について

モードスイッチの位置によって操作できる項目は変わります。画面には、設定可能な項目のみが表示されます。
■印はお買い上げ時の設定です。

モードスイッチが「STILL」で、[📷]を選択しているとき

項目	設定	意味
サイズ・連写	■1280×960／640×480／連写(640)	静止画撮影時の画像サイズを選ぶ（21、33ページ）。
フォーカス	■オート／🌷0.2m／👤0.5m／👥1.0m／⛰∞	オートフォーカスを選択したり、フォーカスプリセットで距離を設定する（31ページ）。
セルフタイマー	入／■切	セルフタイマーを設定する（26ページ）。
P.エフェクト	■切／ネガアート／セピア／モノトーン／ソラリ	画像の特殊効果を設定する（35ページ）。

モードスイッチが「MOVIE」で、[🎞]を選択しているとき

項目	設定	意味
フォーカス	■オート／🌷0.2m／👤0.5m／👥1.0m／⛰∞	オートフォーカスを選択したり、フォーカスプリセットで距離を設定する（31ページ）。
セルフタイマー	入／■切	セルフタイマーを設定する（26ページ）。
P.エフェクト	■切／ネガアート／セピア／モノトーン／ソラリ	画像の特殊効果を設定する（35ページ）。

モードスイッチが「PLAY」で、[▶]を選択しているとき

項目	設定	意味
削除	実行 キャンセル	– 選択中の画像の削除を実行する（46ページ）。 – 削除を中止する。
全削除	実行 キャンセル	– 全ての画像の削除を実行する（46ページ）。 – 削除を中止する。
4**枚表示**／1**枚表示**	—	4枚表示と1枚表示を切り換える（38ページ）。
プリント	入／切	プリントマークを付けたい／消したい静止画像を選ぶ（39ページ）。

* 以下のメニューはモードスイッチのどの位置でも行えます。

[▭]を選択しているとき

項目	設定	意味
LCD**ライト**	■入／切	液晶画面の明るさを選ぶ。周囲が暗い場所で使うときに[入]を選ぶと画面は明るく見やすくなるが、バッテリーの消耗は早くなる（25ページ）。
画面表示	■入 切	– 表示可能なアイコンをすべて表示。 – 警告表示のみ表示。

[■]を選択しているとき

項目	設定	意味
時計設定	表示設定 日時設定	– 日付の表示順を選ぶ（17ページ）。 ■[年／月／日]／[月／日／年]／[日／月／年] – 時計を合わせる（18ページ）。
ビープ音	■入 シャッター 切	– コントロールボタン／シャッターボタンを押したときなどに、ブザー／シャッター音が鳴る。 – シャッターボタンを押したとき、シャッター音が鳴る。 – 音は鳴らない。
USB	■標準／PTP	USB接続方法を選ぶ（65ページ）。
言語/LANG	■日本語／JPN ENGLISH	– メニュー項目／警告などを日本語で表示する。 – メニュー項目／警告などを英語で表示する。

[■]を選択しているとき

項目	設定	意味
フォーマット	実行／キャンセル	"メモリースティック"をフォーマット（初期化）する。 フォーマットすると"メモリースティック"に記録されているすべての情報が消去されます。ご注意ください（48ページ）。

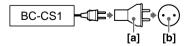
海外で使う

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	変換アダプター
主に北米など	不要です。
主にヨーロッパなど	

本機は海外でもお使いになれます。

- バッテリーチャージャーBC-CS1（付属）はAC 100 V～240 V､50/60 Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。

  ただし旅行先の国や地域によっては、下図のように電源コンセント**[b]**に合った変換プラグアダプター**[a]**が必要になる場合があります。あらかじめ旅行代理店などでおたずねの上、ご用意ください。

- 電子式変圧機（トラベルコンバーター）はご使用にならないでください。故障の原因となります。

使用上のご注意

お手入れについて

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをおすすめします。

レンズをきれいにする

レンズに指紋やゴミがついて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

表面のお手入れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください 。

海岸やほこりの多い場所で使ったあとは

カメラをよく清掃してください。潮風で金属が腐食したり、砂ぼこりが内部に入ったりすると故障の原因になります。

動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約0℃～40℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起こりやすいのは

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき、など。

結露を起こりにくくするために

本機を寒いところから急に暖かい所に持ち込むときは、ビニール袋に本機を入れて、空気が入らないように密閉してください。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側についた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入／切に関係なく保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。
充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。
ただし、充電式ボタン電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

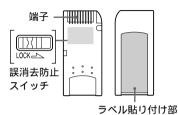
充電方法

充電された単4形ニッケル水素電池を取り付け、電源を切ったまま24時間以上放置する。

“ メモリースティック ”について

“ メモリースティック ”は、小さく軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代のIC記録メディアです。
“ メモリースティック ”には、一般の“ メモリースティック ”と、著作権保護技術（マジックゲート*）を搭載した“ マジックゲート メモリースティック ”の2種類があります。
本機では“ マジックゲート メモリースティック ”と一般の“ メモリースティック ”のどちらもご使用いただけます。ただし、本機はマジックゲート規格に対応していないため、本機で記録したデータは著作権の保護の対象にはなりません。

* “ マジックゲート ”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。

- データの読み込み中、書き込み中には“ メモリースティック ”を取り出さないでください。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や画像消去ができません。

誤消去防止スイッチの位置や形状は、お使いの“ メモリースティック ”によって異なることがあります。

- 静電気やノイズの影響を受ける場所で使用した場合、データが破壊されることがあります。
- ラベル貼り付け部に貼るラベルは専用のラベルをお使いください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水に濡らさないでください。

ニッケル水素電池について

電池の上手な使いかた

- 電池は使い切ってから充電することをおすすめします。
- 周囲の温度が低いと電池の性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、電池は付属のバッテリーケースに収納して、ポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取りつけることをおすすめします。
- [LCDライト] を [入] にしつづけると、電池の消耗が早くなります。
- 撮影には予定撮影時間の2〜3倍の予備電池を準備して、事前に試し撮りをしてください。
- 電池は防水構造ではありません。水などに濡らさないようにご注意ください。

電池の寿命について

- 電池には寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれ電池の容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境により異なります。

主な仕様

本体

システム

撮像素子	6.65 mm（1/2.7型）カラーCCD 原色フィルター
総画素数	約1 340 000画素
カメラ有効画素数	約1 260 000画素
レンズ	単焦点レンズ f=5.0 mm（35 mmカメラ換算では33 mm)、F2.8
露出制御	自動、シーンセレクション（3モード）
データ方式	静止画：DCF準拠（Exif Ver.2.2 JPEG準拠)、DPOF対応 動画：MPEG1準拠（音声なし）
記録メディア	“メモリースティック”
フラッシュ	推奨撮影距離：0.5〜1.8 m

端子

USB端子	mini-B

液晶画面

液晶パネル	2.5 cm（1.0型）TFT駆動
総ドット数	64 460（293×220）ドット

電源・その他

電源	単4形ニッケル水素電池（2本）、2.4 V 5 V（USBケーブルより供給）
消費電力（撮影時）	1.25 W
動作温度	0°〜+40°C
保存温度	–20°〜+60°C
外形寸法	84.5×39.8×28.6 mm （幅×高さ×奥行、最大突起部含まず）
本体質量	118 g（電池2本、"メモリースティック"、ネックストラップなど含む）

Ni-MHバッテリーチャージャーBC-CS1

入力電源	AC 100〜240 V 50/60 Hz 2〜9 VA
出力	単3形：DC 1.8 V、165 mA×2 単4形：DC 1.8 V、70 mA×2
外形寸法	70×29×74 mm（幅×高さ×奥行）
本体質量	約70g
使用温度	0°〜＋40°C

付属品

- 単4形ニッケル水素電池
- バッテリーチャージャー
- 電源コード
- USBケーブル
- ネックストラップ
- " メモリースティック "(8 MB)
- CD-ROM（USBドライバSPVD-008）
- サイバーショット取扱説明書
- 安全のために
- 保証書

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラや“メモリースティック”などの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

“故障かな？と思ったら”の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

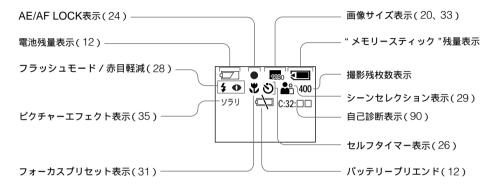
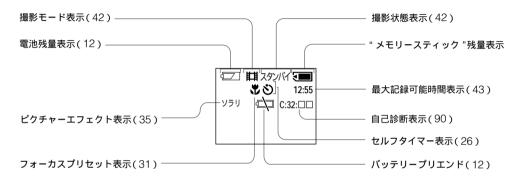
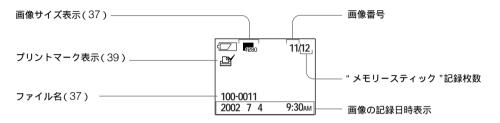
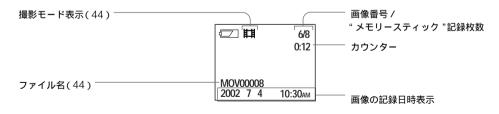
当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

画面上の表示

静止画撮影時

動画撮影時

撮影モード表示（42）
電池残量表示（12）
ピクチャーエフェクト表示（35）
フォーカスプリセット表示（31）
撮影状態表示（42）
“ メモリースティック ”残量表示
最大記録可能時間表示（43）
自己診断表示（90）
セルフタイマー表示（26）
バッテリープリエンド（12）
スタンバイ
12:55
ソラリ
C:32:□□

その他

静止画再生時

動画再生時

用語の解説

インストール（53ページ）
ソフトウェアなどをコンピュータにコピーして組み込むことです。

オートパワーオフ機能（16ページ）
本機の電源を入れたまま約3分間操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐため、本機の電源を自動的に切る機能のことです。

ドライバ（53ページ）
どのような周辺機器がどのように接続されているかをコンピュータ側に知らせ、周辺機器を正しく動かすために必要なソフトウェアのことです。

半押し（24ページ）
シャッターを押し込まず、半分押した状態にしておくことです。シャッターを半押しすると、撮影状況に合わせてピントと露出を自動で調整します。

ピント（23ページ）
被写体に対する焦点のことです。本機はピントを自動で調整しますが、撮影距離を設定して撮影することもできます。

フォーマット（48ページ）
「初期化」とも言います。記録メディアにデータを書き込めるようにすることです。フォーマットすると、記録メディアに保存されているデータはすべて消えます。

“メモリースティック”（96ページ）
小さくて軽く、フロッピーディスクより容量が大きい新世代のIC記録メディアです。

AE（24ページ）
「Auto Exposure」の略です。
被写体の明るさをカメラが判断して、自動で露出を決める機能のことです。

AF（24ページ）
「Auto Focus」の略で、カメラが自動でピントを合わせる機能のことです。

CCD（97ページ）
「Charge Coupled Device」の略で、光を電気信号に変換する半導体の一種のことです。

DCF
「Design rule for Camera File system」の略で、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された統一規格のことです。

DPOF（39、97ページ）
「Digital Print Order Format」の略で、「ディーポフ」と読みます。印刷したい写真を記録メディア上に指定することができます。

Exif（97ページ）
（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画用のファイルフォーマットです。

JPEG（23ページ）
「ジェイペグ」と読みます。インターネットで扱う代表的なカラーの静止画を圧縮する形式のことです。本機では、通常の静止画撮影時、JPEG形式で画像を保存します。

MPEG（42ページ）
「エムペグ」と読みます。カラー動画像の圧縮方式のひとつで、品質の良い画像や高い圧縮形式が得られます。本機では、動画撮影時、MPEG形式で画像を保存します。

OS（51ページ）
「Operating System」の略で、コンピュータ全体を管理し、コンピュータを操作するのに必要な基本ソフトウェアのことです。

PTP（93ページ）
「Picture Transfer Protocol」の略です。パソコンに画像データを簡単にコピーできる接続方法のことです。Windows XPから対応しています。

SXGA（14ページ）
「Super eXtended Graphics Array」の略で、1280×960の画像サイズのことです。

USB（93ページ）
「Universal Serial Bus」の略です。キーボードやマウスなどのパソコンの周辺機器を接続するための規格のことです。

USBバス電源供給（64ページ）
USB接続したパソコンから、周辺機器に電源を供給できる機能のことです。

VGA（14ページ）
「Video Graphics Array」の略で、640×480の画像サイズのことです。

索引

タ行

ハ行

マ行

ヤ行

アルファベット順

電話のおかけ間違いにご注意ください。

ソニーではデジタルスチルカメラをお買い上げの皆様へのサポートをより充実させていくため、お客様に「カスタマーご登録」をお勧めしています。詳しくは同梱の「カスタマーご登録のお勧め」をご覧ください。

■ カスタマーご登録およびご登録内容の変更はこちらのホームページから：

http://www.sony.co.jp/di-regi/

カスタマーご登録に関するお問い合わせ：
ソニーマーケティング（株）カスタマー専用デスク
電話：03-5977-7255
受付時間：**月～金曜日　午前10時～午後6時**
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

お問い合わせ窓口のご案内

電話のおかけ間違いにご注意ください。

■ デジタルイメージングカスタマーサポート

デジタルスチルカメラとパソコンの接続方法や、最新サポート情報をご案内するホームページです。
http://www.sony.co.jp/support-di/

■ テクニカルインフォメーションセンター

ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、および修理受付の窓口です。
製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。また、修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定宅配便で取りにおうかがいしますので、まずお電話ください。
電話：0564-62-4979
受付時間：**月～金曜日　午前9時～午後5時**
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

お電話の前に以下の内容をご用意ください。
① お客様のデジタルイメージングカスタマーID
（既にカスタマーご登録されたお客様にはカスタマーIDが発行されています。）
② 本機の型名（本機底面をご覧ください。）
③ 本機の製造番号（本機底面をご覧ください。）

■ ピクセラユーザーサポートセンター

ImageMixer for Sonyに関するお問い合わせ窓口です。
電話：072-224-0181
受付時間：**月～日曜日　午前9時～午後5時**
（ただし、年末、年始、祝日を除く）
http://www.imagemixer.com

3076559O5

http://www.sony.co.jp/

Printed in Japan

この説明書は再生紙を使用しています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

サイバーショットオフィシャルWEB**サイト**
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/
サイバーショット、マビカの最新情報を掲載。
撮影方法やアクセサリー情報、
パソコン接続に関する情報を掲載しています。